

パブリックディスプレイ

取扱説明書

BT421

目次

安全のために必ず守ること	日本語 -1
ご使用前に	日本語 -5
付属品の確認	日本語 -6
設置	日本語 -7
壁掛け用や天吊り用として使用する場合	日本語 -8
各部の名称	日本語 -10
リモコン	日本語 -12
リモコンの使用範囲	日本語 -13
リモコンの取り扱い	日本語 -13
接続	日本語 -14
外部機器を接続する	日本語 -14
電源を接続する	日本語 -14
本機の電源を入れる	日本語 -15
調節	日本語 -16
接続方法について	日本語 -17
機能	日本語 -19
パワーマネジメント機能	日本語 -19
アスペクト変更	日本語 -20
インフォメーション	日本語 -20
Plug&Play 機能	日本語 -20
画面調節 (OSD 機能)	日本語 -21
OSD メニュー一覧	日本語 -23
困ったとき	日本語 -25
故障かな?と思ったら...	日本語 -25
本機を廃棄するには (リサイクルに関する情報)	日本語 -28
保証とアフターサービス	日本語 -28
付録	日本語 -29
RS-232C リモートコントロール	日本語 -29
LAN コントロール	日本語 -30
外部制御	日本語 -31
用語解説	日本語 -32
仕様	日本語 -34




安全のために必ず守ること

この取扱説明書に使用している表示と意味は次のようになっています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
--	--	---	--------------------------------------

図記号の意味は次のとおりです。

	▲ 記号は注意(警告を含む)をうながすことを表しています。 図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。 図の中に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。 図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。

●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜きディスプレイを安全な場所に移動する!!

異常のまま使用すると、ディスプレイの落下・火災・感電・火傷の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ディスプレイを安全な場所に移動させ、販売店に修理をご依頼ください。



プラグを抜く



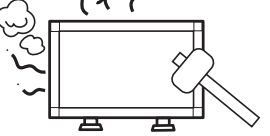
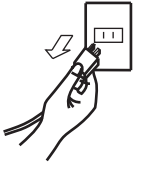
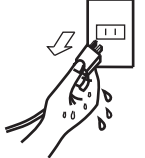

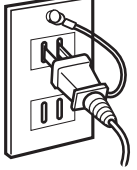

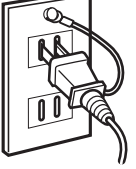
地震等での製品の転倒・落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止対策をおこなってください。転倒・落下防止器具を取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの危害の軽減を意図したのですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

<p>故障（画面が映らないなど）や煙、異常な発熱、変な音・においがするときは使わない</p> <p>使用禁止</p> <p>火災・感電・火傷の原因となります。</p>	<p>ディスプレイがぐらつく、またはスタンド部にひびや亀裂がある場合は近づかない</p> <p>使用禁止</p> <p>お買い上げの販売店か、工事専門業者にご連絡ください。</p>	<p>傾斜面や不安定な場所に置かない</p> <p>禁止</p> <p>落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。</p>
<p>電源コードを傷つけない</p> <p>下敷き</p> <p>傷つけ禁止</p> <p>熱器具のそば</p> <p>やぶれ</p> <p>重いものをのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったり、折り曲げたまま力を加えたりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。</p>	<p>裏ぶたをはずさない</p> <p>分解禁止</p> <p>内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。</p> <p>修理・改造をしない</p> <p>けが・火災・感電の原因となります。</p> <p>修理・改造禁止</p>	<p>キャビネットを破損したときは使わない</p> <p>使用禁止</p> <p>火災・感電の原因となります。</p> <p>異物をいれない</p> <p>特にお子さまにご注意</p> <p>禁止</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>
<p>アースリード線を挿入・接触しない</p> <p>禁止</p> <p>電源プラグのアースリード線を電源コンセントに挿入・接触させると火災・感電の原因となります。</p>	<p>正しい電源電圧で使用する</p> <p>指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。</p> <p>指示</p> <p>一般のご家庭のコンセント(AC100V)でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外で使用しないでください。本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。</p>	<p>ポリ袋で遊ばない</p> <p>特にお子さまにご注意</p> <p>本体包装のポリ袋を頭からかぶると窒息の原因となります。</p> <p>液晶を口にしない</p> <p>液晶パネルが破損し、液晶がもれ出た場合は、液晶を吸い込んだり、飲んだりしないようにしてください。</p> <p>中毒を起こすおそれがあります。万一口に入ってしまったら、目に入ってしまった場合は、水でゆすいでいただき、医師の診断を受けてください。手や衣類に付いてしまった場合は、アルコールなどでふき取り、水洗いしてください。</p> <p>禁止</p>
<p>風呂場や水のかかるところに置かない</p> <p>水ぬれ禁止</p> <p>水などがディスプレイの内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。</p>	<p>雷が鳴り出したら、電源コード・アンテナ線などには触れない</p> <p>接触禁止</p> <p>雷が鳴り出したら電源コード・アンテナ線には触れないでください。感電の原因となります。</p>	<p>据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店にご依頼ください。</p> <p>指示</p> <p>工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。</p>

⚠️ 注意

設置のときは次のことをお守りください。

風通しが悪かったり、置き場所によっては、内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

<p>さかさまにしない</p>  <p>禁止</p>	<p>直射日光や熱器具のそばに置かない</p>  <p>設置禁止</p>	
<p>屋外での使用禁止 本商品は屋内での使用を想定しています。屋外では使用しないでください。故障の原因となることがあります。</p>  <p>屋外での使用禁止</p>	<p>液晶パネルに衝撃を加えない 液晶パネル面を硬いものでたたいたりして衝撃を加えないでください。破損してけがや故障の原因となることがあります。移動する際も、液晶パネルに手などが接触しないようにしてください。</p>  <p>禁止</p>	
<p>車載用禁止 車載用など移動用途には使用できません。故障の原因となることがあります。</p> <p>設置禁止</p>	<p>電源コードやケーブル類をつけたまま移動しない 火災・感電の原因となることがあります。電源プラグや機器間の接続をはずしたことを確認のうえ、移動してください。</p> <p>禁止</p>	<p>ディスプレイや置き台には乗らない ディスプレイや置き台には乗らないでください。また、キャスター付き置き台にディスプレイを設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。ディスプレイが倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>湿気やほこりの多い所、油煙や湯気の当たる所に置かない 温度・湿度が急激に変化する環境で使用しない 結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。</p> <p>設置禁止</p>	<p>狭い所に置かない</p> <p>設置禁止</p>	
<p>電源プラグを持って抜く コードを引っ張ると傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。</p>  <p>プラグを持つ</p>	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>  <p>ぬれ手禁止</p>	<p>お手入れの際は電源プラグを抜く 感電の原因となることがあります。</p>  <p>プラグを抜く</p>
<p>電源プラグを奥までさしこむ 電源プラグは奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まれていないと火災・感電の原因となることがあります。</p>  <p>抜けかかり禁止</p> <p>しっかり差し込んで</p>	<p>長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグを抜く</p>  <p>プラグを抜く</p> <p>過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない 本機のLANポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LANポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。</p> <p>設置禁止</p>	
<p>アースリード線を接続する 本機は電源コードのアース端子を大地アースに接続することを前提に設計されているアースつき2芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース接続線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実にとってご使用ください。アースを接続しないと感電するおそれがあります。アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前におこなってください。また、アースを外す場合は、必ず電源コンセントから抜いてからおこなってください。</p>	 <p>アースリード線を接続せよ</p>	

⚠ 注意

1年に一度は内部掃除を

内部にほこりがたまったまま使うと、火災や故障の原因となることがあります。内部掃除は販売店にご依頼ください。



内部掃除

電源プラグのほこりなどは定期的に取り

火災の原因となることがあります。1年に一度は電源プラグの定期的な清掃と接続を点検してください。



ほこりを取る

推奨の溶剤でお手入れする

ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹼などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。(化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。)また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れるなどの原因となることがあります。パネル表面のお手入れに溶剤を使用される場合は水、エタノール、イソプロピルアルコールを推奨いたします。その際は溶剤が残らないようにしてください。推奨以外の溶剤(酸、アルカリ、アセトン等)は使用しないでください。溶剤類や水滴等がディスプレイ内部に入ったり表示面以外のディスプレイ表面に付着すると、商品を破壊するおそれがありますのでご注意ください。



使用禁止

ディスプレイの上手な使い方

日本国内専用です

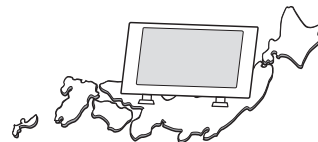
この液晶ディスプレイは日本国内用として製造・販売しています。日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。またこの商品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではおこなっていません。

This color monitor is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.



For use in Japan only

国内専用



キャビネットのお手入れ

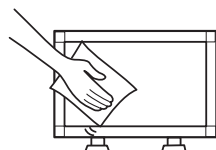
お手入れの際は電源プラグを抜いてください。柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。溶剤をご使用の際は「推奨の溶剤でお手入れする」にて使用できる溶剤をご確認ください。



プラグを抜く

液晶パネルのお手入れ

パネル表面は傷つきやすいので、硬いもので押したりこすったりしないように、取り扱いには十分注意してください。パネル表面は触指などにより汚れることのないようご注意ください。パネル表面が汚れた場合には、乾いた布で軽くふき取ってください。またきれいな布を使用されるとともに、同じ布の繰り返し使用は避けください。



上手な見方

明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。

⚠ 重要なお知らせ

残像について

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象ですが、故障ではありません。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。また、ディスプレイを使用しないときは、パワーマネジメント機能(パワーセーブ)やスケジュール機能を使ったり、リモコンや電源ボタンを操作してディスプレイをスタンバイ状態にすることをおすすめします。

ご使用前に

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品



グリーンマーク

JIS C 0950 (通称 J-Moss) とは、電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法を規定した日本工業規格です。特定の化学物質(鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、PBB、PBDE)の含有状況により、次の2種類の表示マークがあります。

- ・含有マーク : 特定の化学物質が含有率基準値を超える製品に付与するマーク
- ・グリーンマーク : 同化学物質が含有率基準値以下(但し除外項目あり)である製品にメーカーが任意で表示することができるマーク

本製品に表示されているマークは、グリーンマークです。
製品の情報は、<https://www.nec-display.com/jp/environment/j-moss.html> をご覧ください。

AdobeおよびAdobeロゴは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。

Windowsは、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気付きの点がありましたらご連絡ください。

液晶ディスプレイに関するご注意

液晶ディスプレイは、精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや常時点灯しているドットが見えることがあります。これは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。本製品のドット抜けの割合は、0.0016%以下です。

本製品は、ISO9241-307基準に従い、ドット抜けの割合基準値は1サブピクセル(副画素)単位で計算しております。

お知らせ

一般的な言い方として「画素」を「ドット」という言葉で表現しておりますが、ISO9241-307に従い、正確に表現すると、「画素」は「ピクセル(pixel)」、「ドット」は「副画素」とも呼ばれ「サブピクセル(sub pixels)」となります。つまり、「画素」は実体のある副画素と言われる発光する点から構成され、「副画素」は、画素に色または階調を与えるもので、一つの画素内で個別に処理される分割された画素内部構造を示します。

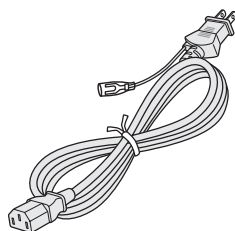
⚠ 注意

- ・ 添付のケーブルを使用してください。
DVIはシールドタイプでコア付きケーブルを使用してください。LANはシールドタイプを使用してください。
これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

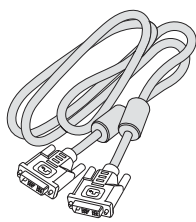
付属品の確認

お買い上げいただいたときに同梱されている付属品は次のとおりです。
万一不足しているものや損傷しているものがありましたら、販売店までご確認ください。

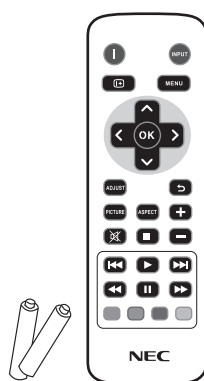
- 電源コード
- 信号ケーブル
- ワイヤレスリモコン／単4形乾電池×2
- セットアップマニュアル
- クランプ
- ネジ
- 保証書



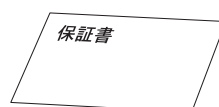
電源コード



信号ケーブル



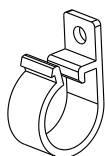
ワイヤレスリモコン／
単4形乾電池×2



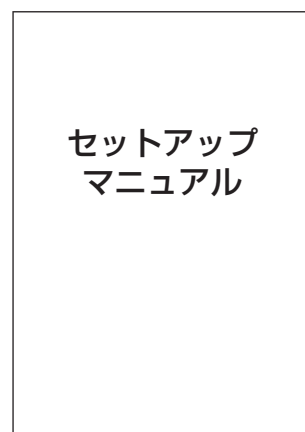
保証書



ネジ



クランプ



セットアップマニュアル

- 運搬する場合は、本機が入っていた梱包箱と緩衝材をご使用ください。

設置

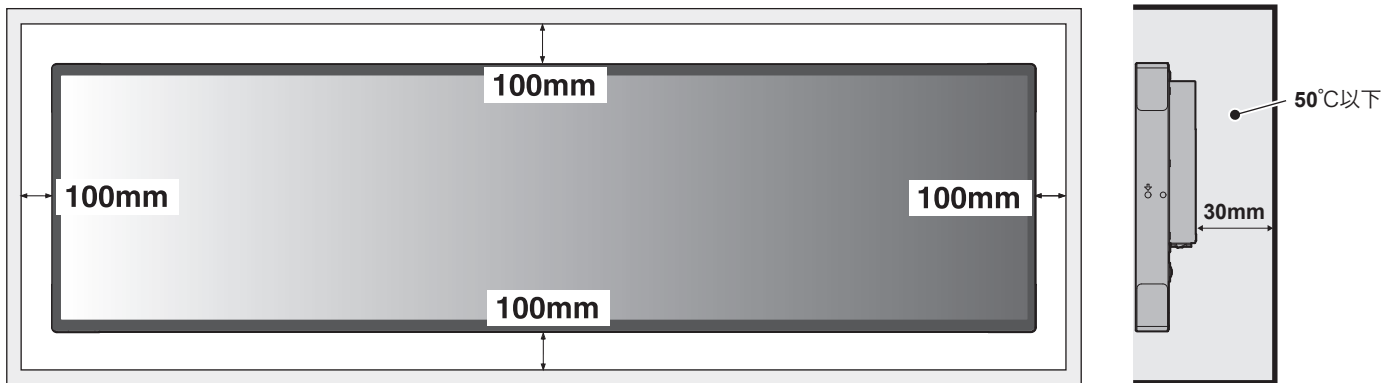
設置する前に、以下の注意事項をお読みになり、正しく安全に設置してください。

⚠ 注意

- ・ 設置する際は、お買い上げの販売店までご相談ください。

■ 据付条件

熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。



⚠ 注意

- ・ 本機の保証環境温度は50°Cです。ケース等に入れて使用される場合は、ケース内部の温度が50°C以下となるよう、ケースにファンを取り付ける、通風口を設けるなどの処置をおこなってください。

壁掛け用や天吊り用として使用する場合

■ 設置方法

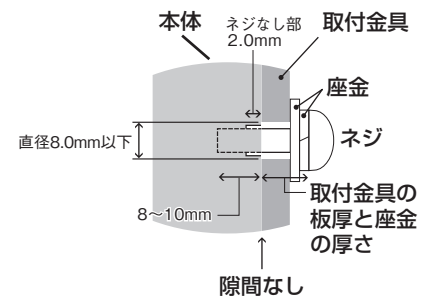
1. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。

⚠ 注意

- ・ 取り付け時に、本体に手を置いたり、力をかけたりしないでください。ディスプレイが変形するおそれがあります。
- 2. ディスプレイをその上に置きます。
- 3. 市販の取付金具を取り付けてください。

⚠ 注意

- ・ 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- ・ 本機の質量は仕様を参照ください。
- ・ ディスプレイへの金具の取り付けには、M6 ネジ（長さは取付金具の板厚と座金の厚さ+8～10mm）を使用し、しっかりと締めてください。（締付トルク 470～635N・cm）
- ・ 取付穴は背面に8個あります。取り付けの際は上下左右均等に付けてください。（推奨取り付け例は下記をご参照ください）
- ・ 取付金具のネジ穴は直径8.0mm以下にしてください。
- ・ ディスプレイの取付面と取付金具との間には隙間が無いようにしてください。

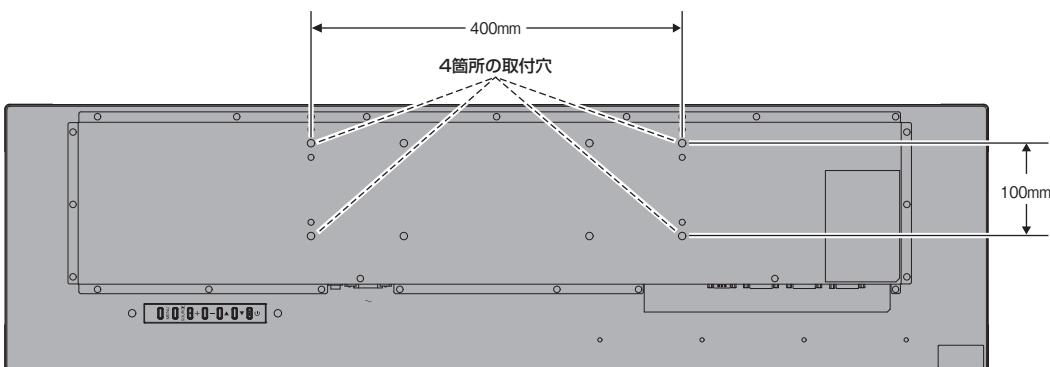


お知らせ

- 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。
- 液晶ディスプレイをマルチスクリーン構成で設置し長時間使用した場合、本体の内部温度の変化により液晶ディスプレイが若干膨張することがあります。隣り合う液晶ディスプレイとの間に1mm以上の隙間をあけて設置されることをおすすめします。

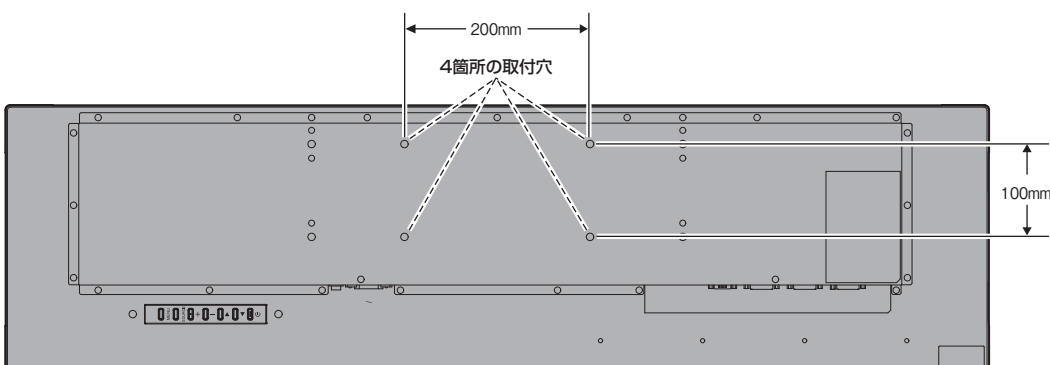
⚠ 注意

- ・ 取り付け、取り外し方法の詳細は、市販の壁掛け用や天吊り用金具の取扱説明書を参照してください。



お知らせ

- 下記、200mm × 100mmの取付穴も使用可能です。



■ 壁掛け・天吊り時の注意事項

⚠ 注意

- 壁掛け・天吊りの設置をする前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お客様による壁掛けや天吊りの設置は絶対におやめください。壁掛けや天吊りの設置はお買い上げ販売店か工事専門業者にご依頼ください。
- 壁や天井の構造や強度により取り付けできない場合がありますので、取り付け場所については工事専門業者または販売店にご相談ください。

お願い

- 設置後のメンテナンス
 - ・ ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
 - ・ 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをおこなってください。

なお、据え付け・取り付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故損害については、弊社は一切責任を負いません。設置の依頼にあたっては以下の注意点を設置業者にご提示ください。

■ 落下防止対応のお願い

ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、市販の壁掛け・天吊り金具を使用し、さらに落下防止用ワイヤーを設置してください。

⚠ 注意

- 落下防止用ワイヤーのみでの壁掛け設置・天吊り設置は絶対におこなわないでください。

建物や構造物の丈夫な箇所とディスプレイの所定の箇所を市販のフック、アイボルト、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続してください。

市販のフック、アイボルト、金具、ワイヤーはディスプレイを保持するのに十分強度のある物をご使用ください。

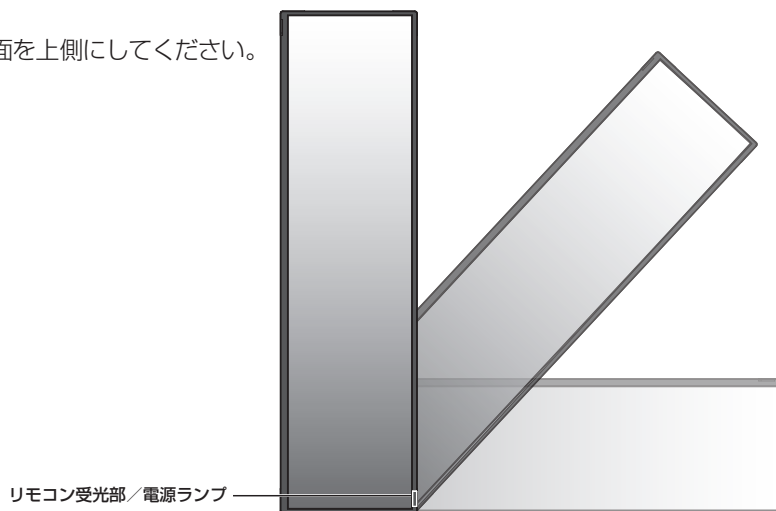
落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置してください。

⚠ 注意

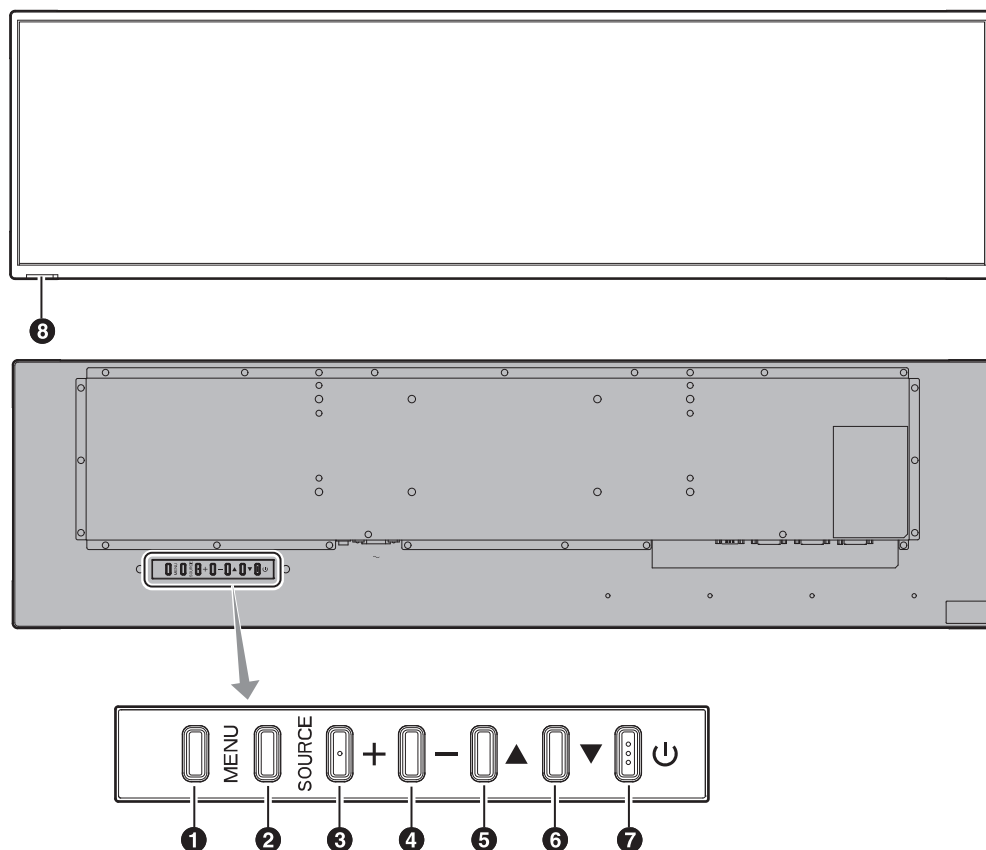
- 取り付け場所について
 - ・ 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できる、強度のある場所を選んでください。強度の不十分なところに設置すると、落下して重大事故の原因となることがあります。
 - ・ 人が容易にぶら下がったり、寄り掛かれるような場所、頭や目がぶつかってしまうような場所、振動、衝撃の加わる場所、または、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因となります。
 - ・ 設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。
 - ・ 荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受けられるようにし、確実に取り付けてください。
 - ・ 強度が不十分な設置面への直接取り付けはおこなわないでください。
- 取付金具について
 - ・ 金具取り付け面の強度を十分確認して設置してください。
 - ・ 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
 - ・ 取り付け前に、強度など安全性の確認をおこなってください。
 - ・ 金具の一部がディスプレイの通風孔をふさがないようにご注意ください。
 - ・ 取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書をご参照ください。

■ 取り付け向きについて

本機を縦型の状態で使用するときは、必ず正面から見て右側面を上側にしてください。上下逆さまでの設置はできません。



各部の名称



① MENU ボタン

OSD 画面を表示します。

② SOURCE ボタン

映像入力を切り替えます。

[DVI1]、[DVI2] を、アップ(▲) / ダウン(▼) ボタンで選択できます。

③ プラスボタン

OSD メニューで選択された各種調整項目を上げます。

④ マイナスボタン

OSD メニューで選択された各種調整項目を下げます。

⑤ アップボタン

OSD メニューで選択された箇所を上に移動します。

⑥ ダウンボタン

OSD メニューで選択された箇所を下に移動します。

⑦ 電源ボタン

電源をオン / オフするときに押します。

⑧ リモコン受光部 / 電源ランプ

リモコン受光部：

ワイヤレスリモコンの信号受光部です。

電源ランプ：

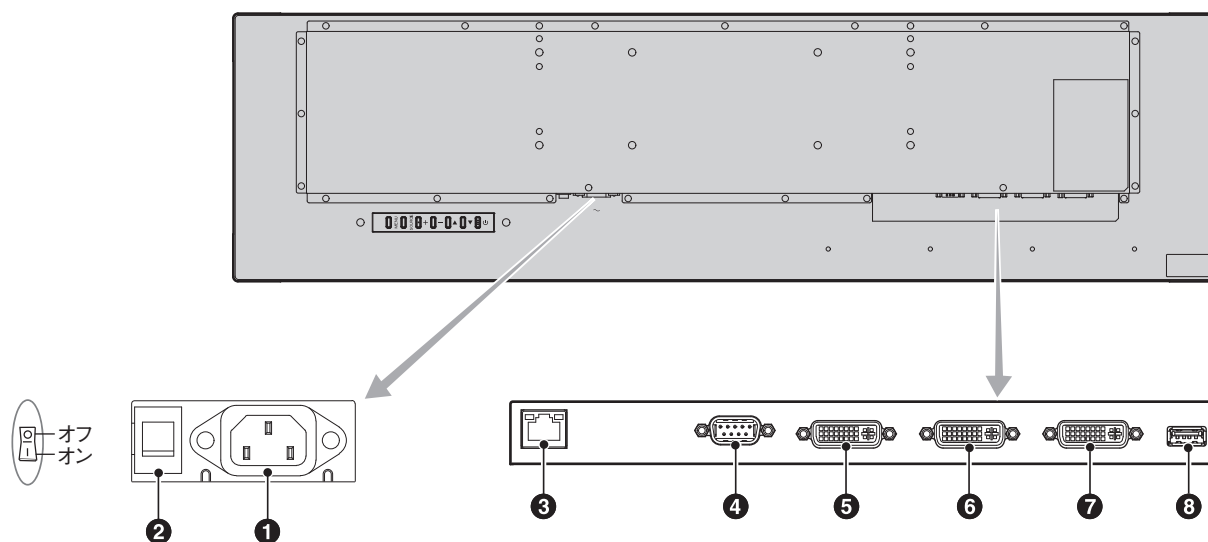
電源ボタン入 : 緑色点灯

電源ボタン切 : 赤色点灯

主電源スイッチ切時 : 消灯

スケジュール待機時 : 赤色点灯

異常検出時 : 赤色点滅



① 電源入力コネクタ(3極アース端子付き)

電源コードを接続します。

② 主電源スイッチ

主電源をオン/オフするときに押します。

↑ : オン ○ : オフ

出荷時はオフになっています。

③ LANポート(RJ-45)

HTTPサーバー機能を利用し、コンピュータでWebブラウザを使用して本機のLAN設定を制御することが出来ます。

④ RS-232C入力コネクタ(D-SUB 9ピン)

コンピュータを接続します。詳細は本取扱説明書の付録「RS-232C リモートコントロール」を参照ください。

⑤ DVI出力コネクタ

他のディスプレイのデジタル入力インターフェースのDVI入力コネクタと接続します。

⑥ DVI入力コネクタ (DVI1)

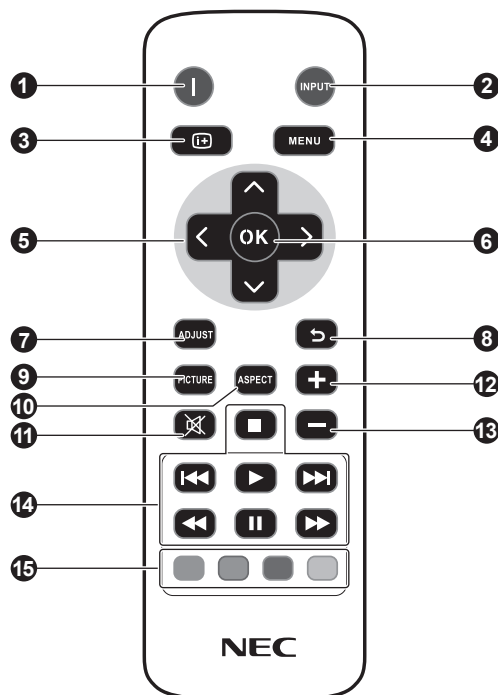
⑦ DVI入力コネクタ (DVI2)

デジタル入力インターフェースのDVI規格に準拠した機器と繋がります。

⑧ サービスポート

(カスタマーサービス用)使用できません。

リモコン



① 電源ボタン

電源をオン/オフするときに押します。

② INPUT ボタン

OSDメニューを表示して映像入力を切り替えます。
[DVI1]、[DVI2]から選択します。

③ INFO ボタン

現在のディスプレイの解像度とリフレッシュレートを表示します。

④ MENU ボタン

OSD画面をON/OFFします。

⑤ 上/下/右/左ボタン

OSD画面が表示されているとき調整項目を動かします。

⑥ OK ボタン

OSD画面で調節した内容を決定します。

⑦ ADJUST ボタン

本機では使用できません。

⑧ BACK ボタン

ひとつ前のOSD画面に戻ります。

⑨ PICTURE ボタン

[スタンダード]、[ダイナミック]、[シネマ]、[カスタム]から画像モードを選択します。

⑩ ASPECT ボタン

画面表示のアスペクトを[フル]、[トリムアップ]、[トリムダウン]、[ズーム]から選択します。

⑪ ミュートボタン

本機では使用できません。

⑫ 音量調節プラスボタン

本機では使用できません。

⑬ 音量調節マイナスボタン

本機では使用できません。

⑭ AUDIO/VIDEO CONTROL ボタン

本機では使用できません。

⑮ MEDIA CONTROL ボタン

本機では使用できません。

リモコンの使用範囲

リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

リモコンは、リモコン受光部から5m以内、上下左右30°では3.5m以内でご使用ください。

お知らせ

- 太陽の直射日光や強い光の当たるところ、または、蛍光灯の近くでは、リモコン操作がきかない場合があります。



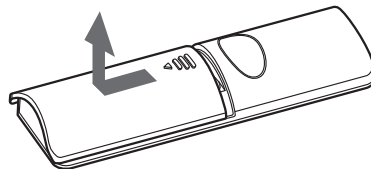
リモコンの取り扱い

リモコンに電池を入れる

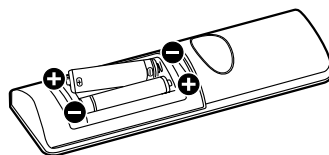
単4形乾電池2つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。

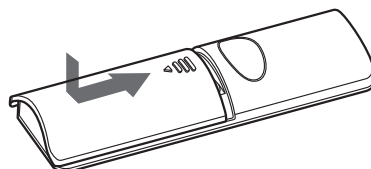
1. ふたを矢印のように押しながらかき上げる



2. ケース内部の表示どおりに⊕⊖を合わせて入れる



3. ふたを元に戻す



⚠ 注意

- 乾電池は誤った使い方をすると液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。
- ・ 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- ・ 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- ・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれるおそれがあります。
- ・ 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となるおそれがありますのですぐ取り出してください。また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

お知らせ

- 付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管しておいてください。

お願い

- 強い衝撃を与えないでください。
- 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- 熱やスチームなどにあてないでください。
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

接続

外部機器を接続する

- ・接続する外部機器を保護するため、接続の際には主電源を切ってください。
- ・接続する機器のそれぞれの取扱説明書に従って接続してください。

お願い

- 本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

電源を接続する

⚠ 注意

- ・電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電源容量が供給されることを確認してください。

お願い

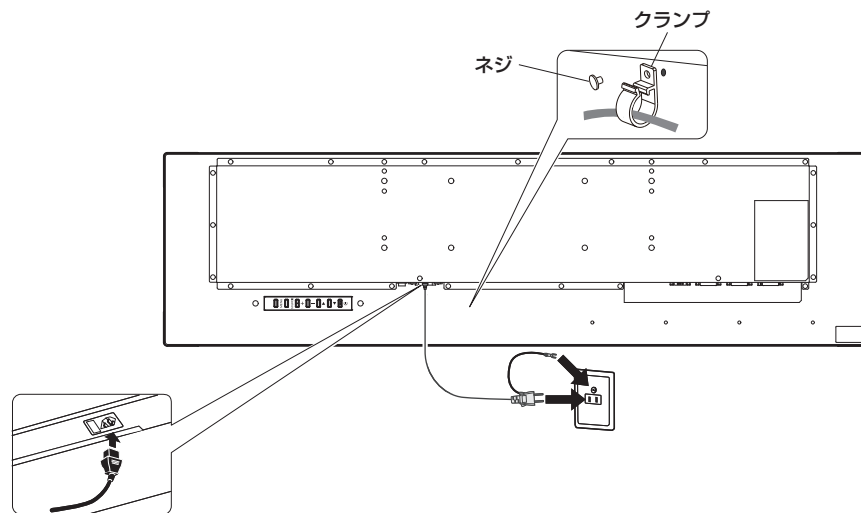
- 電源コードは本体に接続してから電源コンセントに接続してください。

1. 電源コードの一方の端を、本機の電源入力コネクタに差し込む。

奥までしっかり差し込んでください。

お知らせ

- 電源コードをディスプレイ本体付属のクランプとネジで固定してください。本体の電源入力コネクタから容易に抜けるのを防止することができます。(締付トルク 139～189N・cm)
2. アースリード線を接地(アース接続)する。
 3. 電源プラグをAC100V電源コンセントに接続する。



⚠ 警告

- ・表示された電源電圧以外で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機には一般のご家庭のコンセント (AC100V) でお使いいただくための電源コードを添付しております。AC100V以外で使用しないでください。
- ・電源プラグのアースリード線は必ず接地(アース)してください。
なお、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。
また、電源プラグのアースリード線は電源コンセントに挿入または接触させないでください。火災・感電の原因となります。
- ・本機に添付している電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

お願い

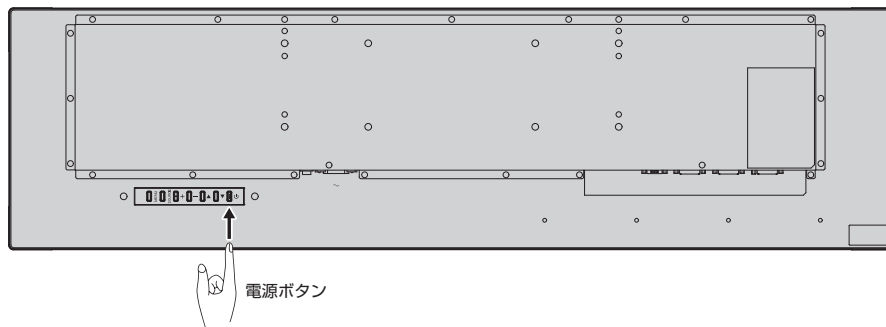
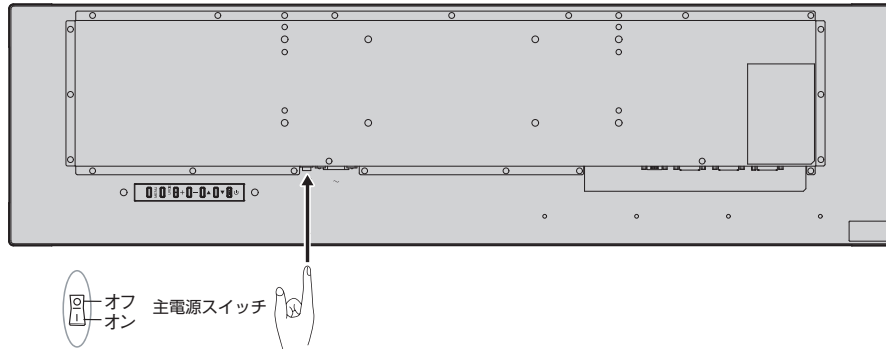
- 電源コンセント周辺は、電源プラグの抜き差しが容易なようにしておいてください。

本機の電源を入れる

電源がオンの場合、電源ランプは緑色に点灯します。

お知らせ

- 主電源スイッチがオン(|)になっていることを確認してから操作してください。



調節

1. 主電源スイッチをオンにする。
2. 本機およびコンピューターや映像機器の主電源を入れる。
3. 画面の調節をおこなう。

長くお使いいただくために

ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。また、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る「残像」という現象が発生する場合があります。残像は画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなります。本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。

- 使用していないときは本機の主電源を切ってください。
 - ・ 本機またはリモコンの電源ボタンで電源を切ってください。
 - ・ パワーセーブ機能を「ON」に設定してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。工場出荷時は「ON」に設定されています。
 - ・ スケジューラー機能を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源をオン／オフしてください。

お知らせ

- スケジューラー機能を使用する場合は必ず日付／時刻設定をおこなってください。
- 液晶パネルにかかる負担を軽減するため、焼き付き防止機能を使用してください。

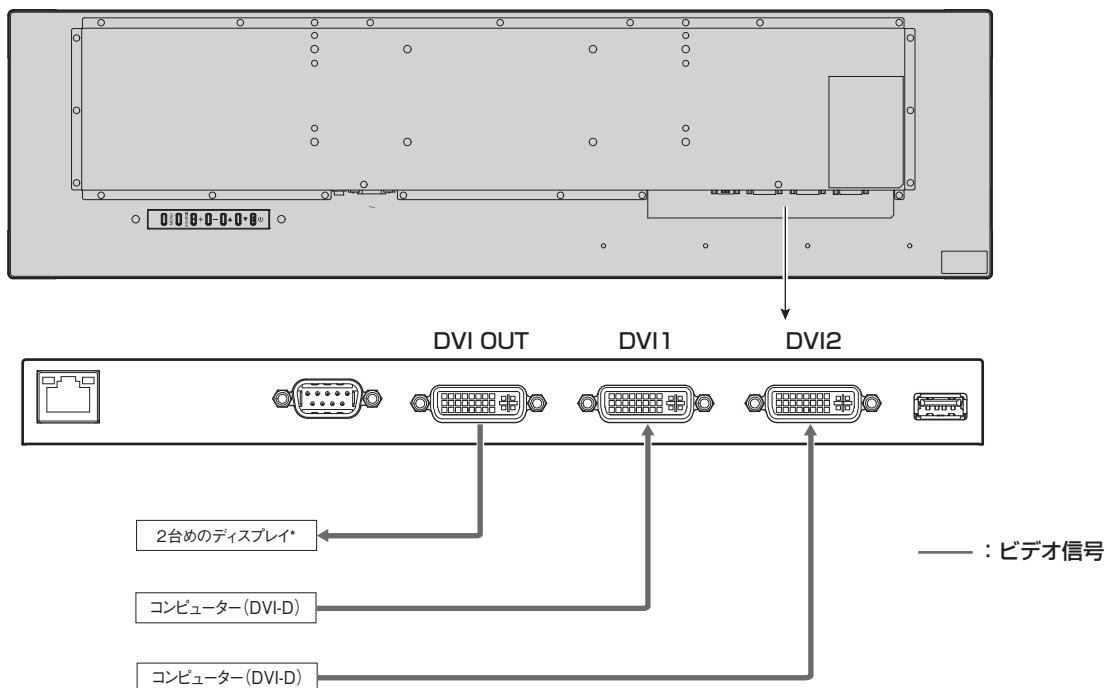
接続方法について

お願い

- 本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルの抜き差しはおこなわないでください。

接続する前に

- ・ コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- ・ それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。



* : マルチ接続 (数珠つなぎ) をする場合、接続台数に制限があります。

コンピューターとの接続

本機はコンピューターのディスプレイとして使うことができます。下表に示す種類のタイミングの自動判別をおこない画面情報を設定しますので、コンピューターに接続すると自動的に適切な画面を表示します。

解像度	走査周波数	
	水平	垂直
640 x 480	31.5 kHz	60 Hz
800 x 600	37.9 kHz	60 Hz
1024 x 768	48.4 kHz	60 Hz
1280 x 720	45.0 kHz	60 Hz
1280 x 768	47.8 kHz	60 Hz
1280 x 800	49.7 kHz	60 Hz
1280 x 1024	64 kHz	60 Hz
1360 x 768	47.7 kHz	60 Hz
1366 x 768	47.7 kHz	60 Hz
1400 x 1050	65.3 kHz	60 Hz
1440 x 900	55.9 kHz	60 Hz
1600 x 1200	75.0 kHz	60 Hz
1680 x 1050	65.3 kHz	60 Hz
1920 x 480 ^{*1}	29.9 kHz	60 Hz
1920 x 540	33.6 kHz	60 Hz
1920 x 960	59.7 kHz	60 Hz
1920 x 1080	67.5 kHz	60 Hz
1920 x 1200	74.6 kHz	60 Hz

*1：推奨信号タイミング

お知らせ

- 入力される信号の解像度によっては、文字がにじんだり図形が歪んだりすることがあります。
ビデオカードまたはドライバーによっては映像を正しく表示することができない場合があります。

機能

パワーマネージメント機能

本機の主電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。この機能は VESA DPM 対応パワーマネージメント機能を搭載しているコンピューターと接続して使用する場合のみ機能します。ビデオカードによっては正しく動作しない場合があります。パワーセーブ [OSD メニュー] → [設定] → [パワーセーブ] を有効に設定した場合、入力信号が失われてから設定した時間が経過すると、自動的にパワーマネージメント機能に入ります。

電源ランプ色と点灯パターン	状態	復帰方法
緑色点灯	通常動作時	
赤色点灯	スケジューラ機能を設定している状態で本機がオフになっているとき	1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 2) 映像信号を入力する
	ネットワーク機器や映像信号機器との接続状態に関わらず、リモコン等で本機をオフした場合	1) リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。

お知らせ

電源ランプが赤色点滅した場合は故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。

アスペクト変更

アスペクト [OSDメニュー]→[映像]→[アスペクト]またはリモコンのASPECT ボタンで画面のアスペクトを選択することができます。

フル→トリムアップ→トリムダウン→ズーム→ノーマル

モード	元の信号		コメント
	16:9	4:3	
フル			比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
トリムアップ			縦横の比率を維持して横方向を画面いっぱいに表示します。 画面上部から480ドットを切りだして表示します。
トリムダウン			縦横の比率を維持して横方向を画面いっぱいに表示します。 画面下部から480ドットを切りだして表示します。
ズーム			画面縦方向、横方向の解像度をそれぞれ任意の倍率に拡大／縮小して表示します。 (縦方向、横方向それぞれ0.9倍から3倍まで拡大／縮小ができます) 表示位置の移動はH.Position、V.Positionでそれぞれ調整できます。
ノーマル			縦横の比率を維持して縦方向を画面いっぱいに表示します。

もとの信号と異なる画面のアスペクトで使用したいときは画面に歪みが発生します。

お知らせ

- 営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテル等においてアスペクト変更等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等をおこないますと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意願います。

インフォメーション

リモコンのインフォメーションボタンを押すと、選択されている映像入力端子、入力解像度等の情報を表示します。

Plug&Play機能

VESAのDDC(Display Data Channel)2B規格に対応したコンピューターと接続した場合には、本機の表示画素数、周波数、色特性などの情報をコンピューターが読み出し、本機に最適な画面が自動的に設定されます。

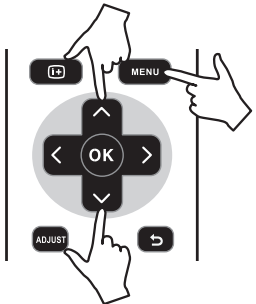
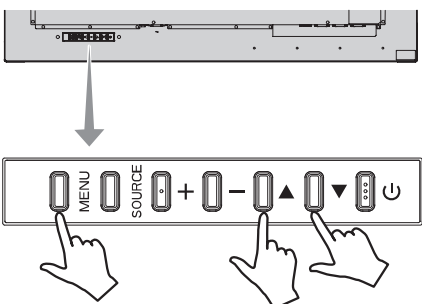
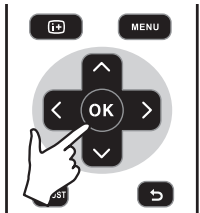
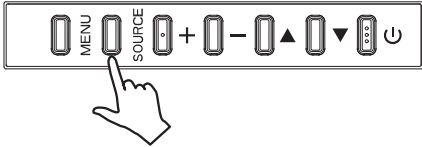
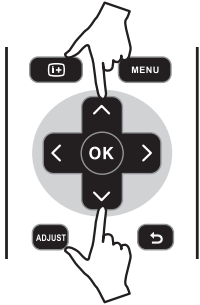
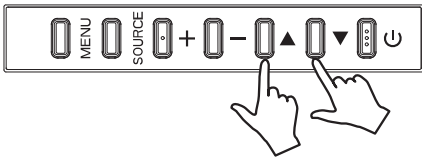
詳しくはコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

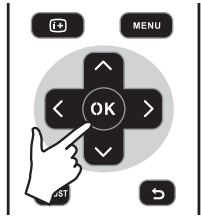
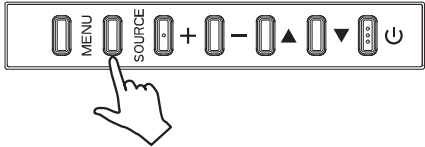
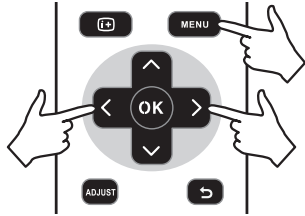
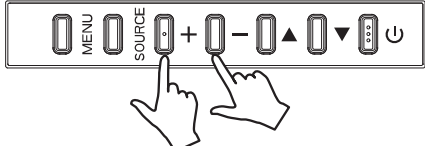
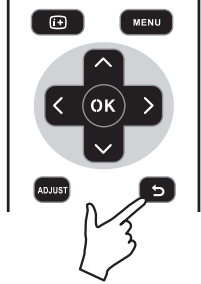
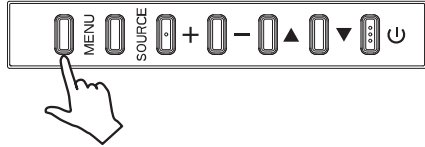
画面調節 (OSD 機能)

本機では、設定を簡単に調整できるよう OSD(オンスクリーンディスプレイ)機能を採用しています。OSD 機能で、画面に表示されたメニューを制御し、輝度やその他の設定を調整できます。


OSD 画面の基本操作

電源ランプが緑色に点灯し、本機の電源がオンであることを確認してください。

ステップ	ワイヤレスリモコン	本体キーパッドのボタン
1	 <p>[MENU] ボタンを押して、OSD 画面を表示し、上 (▲) / 下 (▼) ボタンを使用して、メインメニューの項目を選択します。</p>	
2	 <p>[OK] ボタンを押して選択したメインメニューを確認すると、一番上にあるサブメニューが選択されます。</p>	 <p>[SOURCE] ボタンを押して選択したメインメニューを確認すると、一番上にあるサブメニューが選択されます。</p>
3	 <p>上 (▲) / 下 (▼) ボタンを使用して、サブメニューを選択します。</p>	

ステップ	ワイヤレスリモコン	本体キーパッドのボタン
4	 <p data-bbox="272 584 842 613">[OK] ボタンを押して選択したサブメニューを確定します。</p>	 <p data-bbox="911 584 1474 640">[SOURCE] ボタンを押して選択したサブメニューを確定します。</p>
5	 <p data-bbox="272 1055 847 1111">左 (◀) と右 (▶) のボタンを使用して、設定を選択し、[OK] ボタンを押して確定します。</p>	 <p data-bbox="906 1055 1485 1111">プラス (+) とマイナス (-) のボタンを使用して、設定を選択し、[MENU] ボタンを押して確定します。</p>
6	 <p data-bbox="272 1525 842 1581">[BACK] ボタンを押して現在のメニューを終了して、前のメニューに戻ります。</p>	 <p data-bbox="911 1525 1453 1554">[MENU] ボタンを押して現在のメニューを終了します。</p>

OSD メニュー一覧

映像	
画像モード	[スタンダード]、[ダイナミック]、[シネマ]、[カスタム]から画像スタイルを選択します。 コントラスト、輝度、シャープネス、色合い、色設定を調節します。 それぞれの調整をおこなった場合は、画像モードはカスタムと表示されます。
バックライト	バックライトの設定を調節します。
色温度	色温度を調節します。 あらかじめ設定された色温度に設定する方法と、R,G,Bそれぞれで色温度の調節をする調整方法があります。 色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。R,G,Bそれぞれ色温度の調整をおこなった場合は、色温度はカスタムと表示されます。
ガンマ	ガンマの設定を選択します。 2.2 : ガンマ調整値を2.2に設定します。 2.4 : ガンマ調整値を2.4に設定します。 NATIVE : ガンマ調整機能を無効にします。
ノイズリダクション	ノイズを低減する度合いを調節します。 [オフ]、[弱]、[中]、[強]から選択します。
アダプティブコントラスト	アダプティブコントラストをオン/オフします。 機能をオンした場合、コントラストがはっきりとした表示になりますが、変動値が大きい場合、画面の明るさが不安定に見えることがあります。
アスペクト	アスペクト比の設定を調節します。[フル]、[トリムアップ]、[トリムダウン]、[ズーム]、[ノーマル]から選択します。 H.Zoom : 水平方向の拡大/縮小をします。(0.9倍~3.0倍) V.Zoom : 垂直方向の拡大/縮小をします。(0.9倍~3.0倍) H.Position : +で右へ移動、-で左へ移動します。 V.Position : +で上へ移動、-で下へ移動します。
色範囲	色範囲の設定を[0~255]、[16~235]、[自動]から選択します。
映像設定をリセット	設定を工場出荷設定に戻します。
設定	
スケジューラー	本機の動作スケジュールを設定します。 お知らせ ● 「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付/時刻設定」で現在日時を設定してください。 ● スケジュール機能を有効にするためには、まずメニュー上でスケジューラーを有効に設定してください。 ● スケジューラー機能を有効に設定した場合、スリープタイマー機能は動作しません。
信号チェック優先度	 <ul style="list-style-type: none"> ・ 信号の優先度を1~5で設定します([優先度 1]が最高)。現在のソース信号を失うと、ディスプレイが信号チェック優先度の設定に応じて新たな信号ソースを検索します。 ・ [信号チェック優先度]が有効になっている場合、電源オン時にディスプレイが信号チェック優先度の設定に応じて有効な信号ソースを検索します。 ・ [優先度 1]の信号ソースがない場合、ディスプレイは優先度の高い順に別のソースを確認して、ソースを適宜切り換えます。 ・ 優先度の一番高い信号ソースが復活したら、ディスプレイは自動的にこのソースに再び切り換えます。 ・ [信号チェック優先度]が無効になっている場合、電源オン時にディスプレイは最後に使用したソースを使用します。
制御設定	RS-232CまたはLAN経由で、液晶ディスプレイを制御するよう選択します。 オフ : 外部制御設定を無効に設定します。 RS-232C : RS-232C制御を有効に設定します。 LAN : LAN制御を有効に設定します。 お知らせ ● RS-232CおよびLAN制御は排他制御となります。

イーサネット設定	ネットワークの設定を表示します。
スリープタイマー	スリープタイマーの設定を変更、またはスリープタイマーをオフにします。 お知らせ ● スリープタイマー機能を有効に設定した場合、スケジューラー機能は動作しません。
パワーセーブ	パワーセーブの設定を変更、またはパワーセーブモードをオフにします。
イコライザー	長いケーブルを使用し、画面の劣化が生じたときにイコライズの量を調節します。 [自動]、または [Level 1]～[Level 7] から選択します。
工場出荷設定に戻す	設定を工場出荷設定に戻します。
初期設定	
メニュー言語	OSDメニューの言語を変更します。
時刻の形式	12時間形式と24時間形式のいずれかを選択します。
時計	時刻と日付を変更します。
リモコン操作	リモート操作を有効／無効にします。
キーボード操作	キーボード操作を有効／無効にします。
焼き付き防止	焼き付き防止モードを選択するか、オフにします。
マルチ画面	
モニターID	コントロール用のID番号を与えます。モニターID番号は1～8の間で選べます。
パワーオンディレイ	「スタンバイ」から「電源オン」モードになるまでの遅延時間を調節します。 遅延時間は0～30秒の間で設定できます。
電源ランプ	オフを選択すると電源ボタン入(緑色点灯)のとき、電源ランプを消灯することができます。
システム情報	
モデル名	ディスプレイの型番を表示します。
ソフトウェアバージョン	ディスプレイの現在のソフトウェアのバージョンを表示します。
LANバージョン	ディスプレイの現在のLANのソフトウェアバージョンを表示します。
IPアドレス	ディスプレイに現在設定されているIPアドレスを表示します。

困ったとき

故障かな？と思ったら…

このようなときは、チェックしてください。

表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが赤色に点滅している場合	本機の故障である可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P28
	電源ランプが点灯しない場合 電源ランプ機能 [OSDメニュー]→[マルチ画面]→[電源ランプ]がオンの場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P14
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。	
		主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P15
	電源ランプが緑色に点灯している場合	信号入力が無い入力コネクタが選択されている可能性があります。入力切替ボタンを押して、入力コネクタを切り替えてください。	
		OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P21
		● OSD画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P28
		● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「バックライト」と「コントラスト」を調節してください。	P23
	電源ランプが緑色以外に点灯もしくは点滅している場合	● OSD画面が正常に表示され、「バックライト」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17, 18
		電源ランプが緑色以外に点灯もしくは点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かす、またはリモコンの電源ボタンを押してください。
信号ケーブルが本機または接続機器のコネクタに正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P17	
変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P17	
画面が表示されなくなった	接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。		
	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P28

* ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P5
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P32, 34
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	長時間同じ静止画面を表示すると、このような残像が起こることがあります。本機をリモコンの電源ボタンでスタンバイ状態にするか、変化する画面を表示していれば、像は1日程度で自然に消えます。長時間に渡って静止画面を表示すると、残像が消えなくなる場合がありますが、故障ではありません。使用しないときには電源を切ることをおすすめします。	P4
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P21
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P28
	● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「色設定」を選択し、お好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定リセットをおこなって工場出荷値に戻してください。	P23
● OSD画面が正常に表示され、「映像」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17, 18	
画面がざらつく(上記以外の場合)、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルをご使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。このような場合、当社Webサイトをご確認ください。	P17
	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。	P21
	● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P28
● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P17, 18	
自動的に電源が切れてしまう	スリープタイマーの設定を確認してください。	P24
スケジュール機能で設定したとおりに動作しない	スリープタイマーの設定を確認してください。スリープタイマーがオンと設定されている場合は、スケジュール機能は動作しません。	P24
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	

案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	原 因	対 処	参 照
画面に「注意」が表示された※ ¹	信号ケーブルが本機またはコンピューターのコネクタに正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本機およびコンピューターのコネクタに正しく接続してください。	P17
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネジメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	P19
画面に「信号なし」または「注意！信号周波数が範囲外です」が表示された※ ²	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P18
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P18

※¹ コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※² コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待つて画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

その他(コンピューターと接続している場合)

症 状	原 因	対 処
解像度や色数の変更ができない／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。	本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。
	Windows [®] をご使用の場合は、Windows [®] セットアップ情報のインストールが必要な可能性があります。	付属のユーティリティーディスクのWindows [®] セットアップ情報をコンピューターにインストールしてください。
	Windows [®] セットアップ情報をインストールしても設定の変更が不可能な場合、またはWindows [®] 以外のOSをご使用の場合は、ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。	ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書をご参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。

その他(リモコン)

症 状	原因と対処	参 照
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの乾電池が消耗していませんか。 ● リモコンの乾電池の＋が逆に入っていませんか。 ● ディスプレイ本体の受光部に正しく向けていますか。 	P13

その他(RS-232CまたはLANで接続している)

症 状	原因と対処	参 照
RS-232C で制御できない	リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232Cケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	
LAN で制御できない	LANケーブル(Cat.5以上)が正しく接続されているかを確認してください。	
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P30

本機を廃棄するには(リサイクルに関する情報)

本製品は「資源有効利用促進法」に基づく指定再資源化製品です。希少資源の再利用のため、不要になった製品のリサイクルにご協力ください。詳しくは当社 Web サイトをご参照ください。

「ディスプレイのリサイクル」について

<https://www.nec-display.com/jp/environment/recycle/display.html>

法人のお客様 (産業廃棄物として廃棄される場合)

当社は資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルシステムを構築し、積極的に資源の有効利用につとめています。回収・リサイクルのお見積り・お申し込みについては上記Webサイトをご参照ください。

個人のお客様

“PCリサイクルマーク”のシールが貼り付けられている当社製品は、ご家庭からの排出時、新たな料金負担を頂くことなく、当社が責任を持って回収・リサイクルいたします。

- ※ “PCリサイクルマーク”のない製品は、排出時、お客様に回収・リサイクル料金をご負担頂きます。
- ※ 本機をご購入いただいた個人のお客様には、お申込みいただくことにより、無償で“PCリサイクルマーク”を提供いたします。お申し込み方法は上記Webサイトをご参照ください。



リサイクル

PCリサイクルマーク

保証とアフターサービス

- この商品には保証書を添付しています。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
内容をよくお読みのおと、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- その他、アフターサービスについてご不明の場合は、お買上げの販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。

法人ユーザー様の窓口
NECビジネスPC修理受付センター
フリーコール：0120-00-8283
携帯電話をご利用のお客様はこちらの番号へおかけください。 0570-064-211(通話料お客様負担)
受付時間：月～金 9:00～18:00 休日は、土曜・日曜・祝日および年末年始等の所定休日とさせていただきますので、ご了承願います。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- お名前
- ご住所(付近の目標など)
- 電話番号
- 品名：液晶ディスプレイ
- 型名：BT421
- 製造番号(本機背面のラベルに記載)
- 故障の症状、状況など(できるだけ詳しく)
- 購入年月日または使用年数

付録

RS-232C リモートコントロール

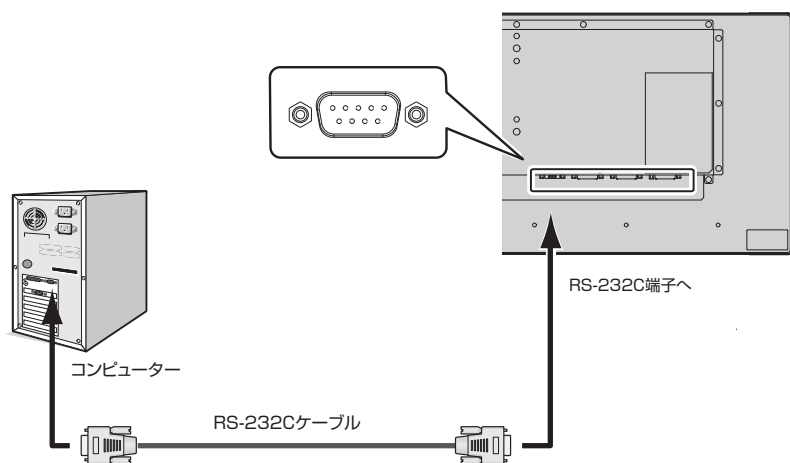
本機のRS-232C端子とコンピューターのRS-232C端子をリバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232Cケーブル(市販)で接続するとコンピューターから次のような操作が可能になります。

⚠ 注意

- ・ RS-232CとLANは排他仕様となります。
- ・ 電源を入れるまたは本機をスタンバイ状態にする
- ・ 入力の切替

■接続方法

本機とコンピューター



- ・ 接続はコンピューターと本機の主電源を切ってからおこなってください。
- ・ 最初にコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。(これをおこなわないとcomポートが正常に動作しない場合があります。)
- ・ RS-232Cで接続されたディスプレイを制御する場合は、本取扱説明書の付録「外部制御」内の「コントロールコマンド」もしくは付属のユーティリティディスク内のExternal_control_J.pdfを参照してください。

お知らせ

- コンピューターの25ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。
- 変換アダプターについてはお買い上げの販売店へお問い合わせください。
- ピン配列については「2)RS-232C input/output」を参照してください。

1) インターフェイス

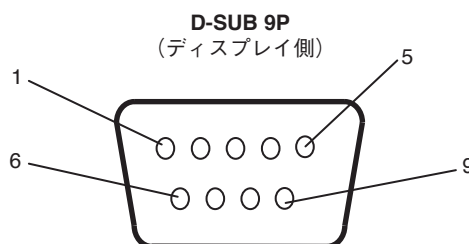
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600[bps]
データ長	8[bits]
パリティ	なし
ストップビット	1[bit]
フロー制御	なし

- ・ 本機はRS-232Cコントロール用としてRXD, TXDおよびGNDラインを使用します。
- ・ リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232Cケーブル(市販)を使用してください。

2) ピンの配列

RS-232C input / output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



ディスプレイはRS-232Cの制御にRXD, TXD, GNDを使用します。

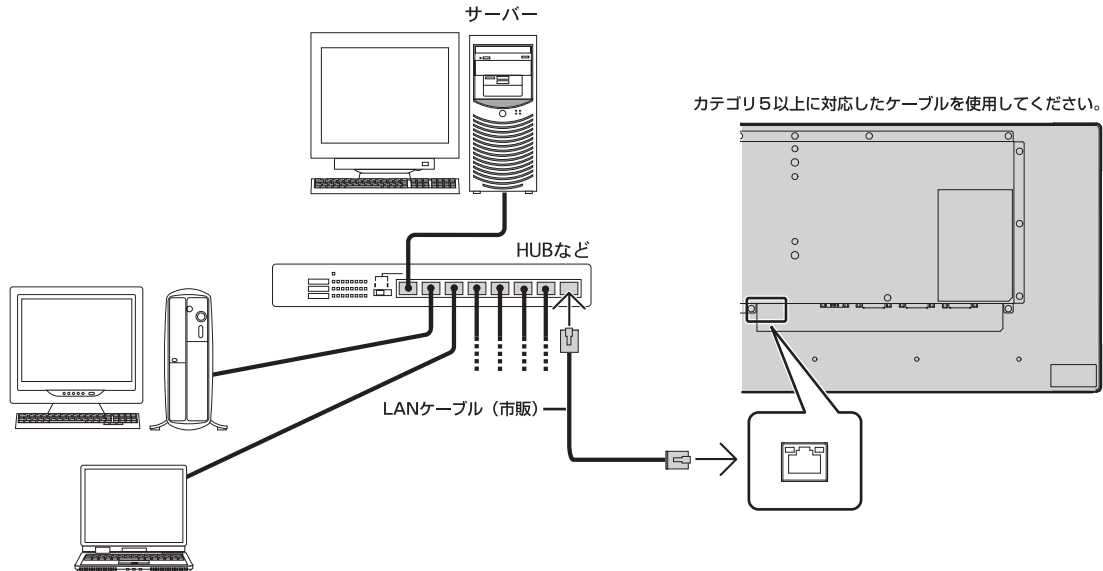
LANコントロール

本機にはLANポート(RJ-45)が標準装備されています。LANケーブル(市販)を接続するとHTTPサーバー機能を使って本機にLANの設定がおこなえます。本機をLAN環境で使用する場合は、本機にIPアドレスなどを設定する必要があります。

⚠ 注意

- RS-232CとLANは排他仕様となります。

接続例



HTTPを使用したブラウザによるネットワークの設定

概要

本機をネットワークに接続すると、コンピューターからネットワークを経由して本機を制御することができます。本機へのIPアドレスやサブネットマスクなどの設定は、HTTPサーバー機能を使用しWebブラウザでネットワーク設定画面を表示しておこないます。なお、Webブラウザは「Microsoft Internet Explorer 10」以上を必ず使用してください。本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対しておこなってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトウェアにあるヘルプなどの説明を参照してください。

お知らせ

- コントロールソフトは、当社のホームページからダウンロードしてください。
- 工場出荷時のIPアドレス取得の設定は「自動」です。リセット後もIPアドレスは自動的に取得されます。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作をおこなうとディスプレイが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作をおこなってください。しばらく待っても応答が無い場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- Webブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、[Ctrl] + [F5] キーを押してWebブラウザの画面表示を更新してください。
- LANで接続されたディスプレイを制御する場合は、付属のユーティリティーディスク内のExternal_control_J.pdfを参照してください。それでも表示されない場合はWebブラウザのキャッシュを消去してください。
- コマンドについては本取扱説明書の付録「外部制御」内の「コントロールコマンド」を参照してください。

使用前の準備

ブラウザによる操作をおこなう前にあらかじめ本機に市販のLANケーブルを接続してください。プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことを推奨します。

外部制御

外部機器との接続方法

ディスプレイとコンピューターなどの外部機器との接続方法には、次の2つがあります。

① RS-232C 端子を使用した接続

RS-232C 端子を使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。

② ネットワーク (LAN) 経由での接続

LAN ケーブルを使用して、ディスプレイとコンピューターを接続します。

使用する LAN ケーブルの種類については、ネットワーク管理者にご確認ください。

接続インターフェース

① RS-232C 端子を使用した接続

通信条件

項目	詳細
プロトコル	RS-232C
ボーレート	9600 [bps]
データ長	8 [bits]
パリティ	なし
ストップビット	1 [bit]
フロー制御	なし

② ネットワーク (LAN) 経由での接続

通信条件 (LAN による接続)

項目	詳細
プロトコル	TCP
ポート番号	7142
伝送速度	自動設定 (10/100Mbps)

③ コントロールコマンド

Function (Monitor ID = 1)	Code Data
Power ON	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 31 03 73 Od
Power OFF	01 30 41 30 41 30 43 02 43 32 30 33 44 36 30 30 30 34 03 76 Od
Input Source Select DVI1	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 33 03 71 Od
Input Source Select DVI2	01 30 41 30 45 30 41 02 30 30 36 30 30 30 31 30 03 73 Od

本機で使用するパラメーター

● input コマンド

入力信号名称	レスポンス	パラメーター
DVI1	dvi1	dvi1
DVI2	dvi2	dvi2

● status コマンド

レスポンス	エラー状態
error:light	バックライト異常
error:system	システムエラー

用語解説

ここでは、本書で使用している専門的な用語の簡単な解説をまとめてあります。また、その用語が主に使用されているページを掲載しておりますので、用語から操作に関する説明をお探しいただけます。

DDC 2B規格(Display Data Channel) P20

VESAが提唱する、ディスプレイとコンピューターとの双方向通信によってコンピューターからディスプレイの各種調節機能を制御する規格です。

DPM (Display Power Management) P19

VESAが提唱する、ディスプレイの省エネルギー化に関する規格です。DPMでは、ディスプレイの消費電力状態をコンピューターからの信号により制御します。

HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) P34

デジタル映像信号を暗号化する著作権保護システムです。HDCPに対応した映像機器を接続することにより、HDCPで保護された映像コンテンツを視聴することができます。HDCPの規格は、Digital Content Protection, LLCという団体によって、策定・管理されています。ただし、HDCPの規格変更などがおこなわれた場合、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。

Plug&Play P20

Windows®で提唱されている規格です。ディスプレイをはじめとした各周辺機器をコンピューターに接続するだけで設定をせずにそのまま使えるようにした規格のことです。

sRGB規格

IEC (International Electrotechnical Commission) により規定された色再現国際規格です。sRGB対応のディスプレイなら、ネットワーク上でどのディスプレイでも色調を揃えることができる規格で、対応プリンター、スキャナー、デジタルカメラなどとの色合わせもしやすくなります。

VESA規格 (Video Electronics Standards Association) P19, 20

ビデオとマルチメディアに関連する標準の確立を目的として提唱された規格です。

インターレース

1つの画面(フレーム)の表示を1行おきに描く(走査する)方式です。テレビのような動きのある画面を表示するときには、この方式を使用できますが、静止画を表示するには、画面のちらつきが目立ち不向きです。そのため、コンピューターのディスプレイでは、ほとんどのものが、すべての行を走査するプログレッシブ方式(ノンインターレース)を採用し、静止画のちらつきを抑えています。

応答速度 P34

表示している画面を変化させたときの画面の切り替わりの速さ(追従性)のことで、数値が小さいほど応答速度は速くなります。

輝度 P34

単位面積あたりの明るさを示す度合いのことで、数値が高いほど表示画面が明るくなります。

コントラスト比 P34

白と黒の明るさの比率を示す比率のことで、輝度が同じであれば、数値が大きくなるほど画面にメリハリが出ます。

残像 P4

残像とは、長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残る現象です。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると残像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使い方は避けてください。「スクリーンセーバー」などを使用して画面表示を変えることをおすすめします。

視野角 P34

斜めから見た場合など、正常な画像が見られる角度のことで、数値が大きいほど広い範囲から画像が見られます。

水平周波数/垂直周波数 P18, 34

水平周波数：1秒間に表示される水平線の数のことで、水平周波数31.5kHzの場合、1秒間に水平線を31,500回表示するということです。

垂直周波数：1秒間に画面を何回書き換えているかを表します。垂直周波数が60Hzの場合、1秒間に画面を60回書き換えているということです。

スクイーズ信号

DVDやBSデジタルチューナーなどの横と縦の比が16:9の映像を、横方向に圧縮して4:3の画面のアスペクトで記録した映像信号。

デインターレース

走査方式を、インターレース方式から、プログレッシブ方式に変換することです。

パワーマネジメント機能 P19

コンピューターの消費電力を低減するために組み込まれた機能です。コンピューターが一定時間使用されていない(一定時間以上キー入力がないなど)場合に、電力消費を低下させます。再度コンピューターが操作されたときには、通常の状態に戻ります。

一般的には「解像度」と呼ばれています。1画面あたりの横方向と縦方向の画素の数を表します。表示画素数が大きいほど多くの情報量を表示することができます。

プログレッシブ

1つの画面を1回の走査で表示する方式です。上から順に走査して全画素を表示していく方式で順次走査方式とも呼ばれます。インターレースに比べると、画面のちらつき感の少ない、きれいな映像を見ることができます。ノンインターレースとも言われます。

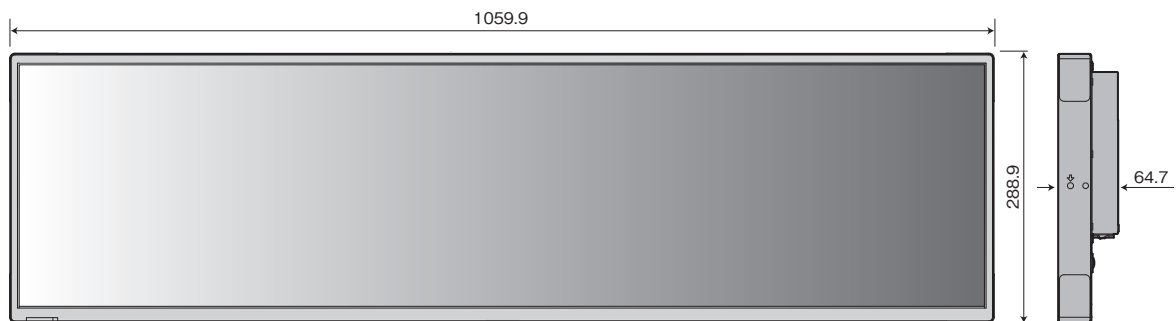
仕様

BT421

サイズ(表示サイズ)	42型ハーフ(1071.7mm) (対角)		
液晶方式	アクティブマトリクス方式カラー TFT液晶		
有効表示領域	1039.68×259.92mm		
表示画素数	1920×480		
画素ピッチ	0.542mm		
表示色	約1677万色		
視野角(標準値)	左右178°、上下178° (コントラスト比10)		
輝度	700cd/m ² (最大値) (周囲温度25℃)		
コントラスト比(標準値)	4000 : 1		
応答速度(標準値)	8.0ms (G to G)		
走査周波数	水平周波数		29 ~ 81kHz
	垂直周波数		56Hz ~ 76Hz(50/60Hzフレームロック)
入力端子	DVI	DVI-D 24ピン	デジタルRGB信号
出力端子	DVI	DVI-D 24ピン	デジタルRGB信号
制御信号	制御入力コネクタ ^{*4}		D-SUB9ピン (RS-232C) × 1
	LANポート ^{*4}		RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX × 1
サービスポート	(カスタマーサービス用)		
適合規格等	安全	J60950-1、J3000	
	パワーセーブ	VESA.DPM 準拠	
	不要輻射	VCCI-A、JIS.C.61000-3-2、J55032(クラスA)	
使用環境条件	温度	0~50℃	
	湿度	20~80% (結露のないこと)	
	高度	2000m	
保管環境条件	温度	-20~60℃	
	湿度	10~90% (結露のないこと)	
電源	電源入力		AC100~240V 50/60Hz
	消費電力	標準	50W ^{*1}
		パワーセーブ時	2.0W以下
		スタンバイ時	0.5W以下 ^{*1}
質量	約9.3kg		

外形寸法(突起部を除く)

- ※ 1 工場出荷時の設定条件
- ※ 2 表示画素数より大きな解像度の表示は簡易圧縮表示になります
- ※ 3 表示される文字が不鮮明になる場合があります
- ※ 4 排他使用のみ可能



仕様は予告なしに変更することがあります。

寸法:mm